



このQ-infoはお取引先様をはじめサポートスタッフがいろいろとお世話になっている方、Replyシートで購読のご希望をいただいた方、サポートスタッフが最近名刺交換をさせていただいた方などにお送りしております。

ご意見、ご感想や送付の可否などは添付のReplyシートでお聞かせ下さい。

スタッフのつぶやき

こんにちは。昼食は弁当を作って持ってきたいけどなかなかできない山田です。

昼食はコンビニ弁当やインスタントラーメン等になりがちなので、身体に気をつけた物を食べるようにしたいところですが、いざ弁当を作るとなるといつ作るんや…という問題が……。

前回のつぶやきでも書きましたが夕食は週末作り置きスープなので、夕食の残りを弁当に…というのもなかなか難しい。

ということで最近では自宅で鶏の胸肉を塩ゆでしてサラダチキン風にしたものを持参したり、コンビニでもカット野菜やなるべく身体によさげな物を買う様にしたりしています。

胸肉の塩ゆではゆで汁に鶏の出汁がよく出ており、それを使ってスープも作れるので一石二鳥です。鳥だけに



(システム開発部 山田 耕大)



IT雑情報 【ノートPCをワイヤレスなセカンドディスプレイとして活用する】

このコーナーではITに関わるいろいろな情報をお届けします。

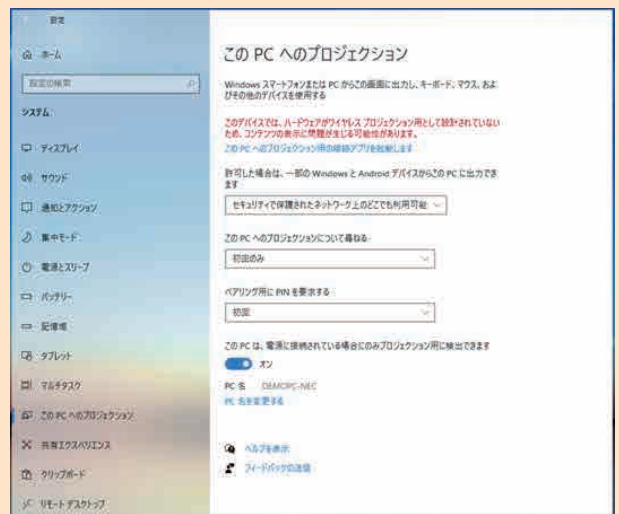
マルチディスプレイ環境が整うと作業効率が格段に上がりますよね。今回は外部ディスプレイを使うのではなく、他のノートPCや無線LANが使用できるデスクトップPCを、ワイヤレスでセカンドディスプレイとして使用する方法をご紹介します。(山田・小野) 画面の拡張のみならず、お客様のPCをワイヤレスでプレゼンテーション画面として利用することもできるようになります。

繋ぐPCと繋がれるPCが同じWi-Fiネットワークに接続されていることが必要です。

繋がれるPC側の設定 【画面1】

右の画面はWindows10の画面です。Windows11の画面はHPに掲載します。

- ① スタートメニューから、「設定」→「システム」→「このPCこのPCへのプロジェクション」を選択します。
※もし選択肢が表示されない場合は、 オプション機能から+機能の追加を選んでワイヤレスディスプレイ機能をインストールをしてください。
- ② 「許可した場合は、WindowsやAndroidデバイスからこのPCに出力できます」のドロップダウンメニューから、安全なネットワーク上にいるなら「どこでも使える」を選びます。
- ③ ノートPC側接続のたびに確認するか、初回のみ確認するかを設定
- ④ ペ어링確認用に認証コードを使用するかを設定
- ⑤ ノートPC名を変更（ネットワーク上で認識しやすいように）
- ⑥ 外面左下の検索窓から「接続」アプリを検索 接続 して起動します。



【画面1】

繋ぐPC側(投影元)の設定 【画面2】

- ① スタートメニューから、「設定」→「システム」→「ディスプレイ」を選択。
- ② 「ワイヤレスディスプレイに接続する」をクリック
- ③ リストに表示されたノートPCを選択すると接続できる。



【画面2】



複製して表示した場合



拡張して表示した場合

読者 訪問



第152回

お伺いした会社 明和カレンダー株式会社
 お話を伺った方 代表取締役社長 稲津 潔 様
 会社の所在地 〒601-8203 京都市南区久世築山町 久世工業団地内
 連絡先など TEL 075-934-6681 FAX 075-934-5531
 事業内容 カレンダー製造
 ホームページ <https://meiwa-calendar.com/>



稲津社長

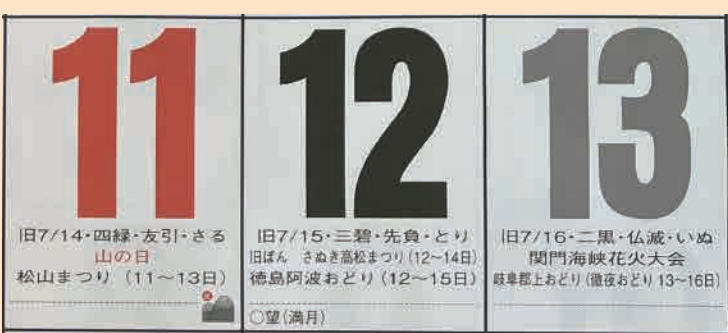
毎月、本誌に同梱している「ReplySheet」で感想などを返信して下さっている明和カレンダーの稲津社長をお訪ねしました。

「ReplySheet」の返信は決して多くないのですが、ひと言書き添えてご返信下さるのは作成者として大変嬉しく思っております。ご返信いただいた「ReplySheet」は社内で誰もが読めるようにしており、それぞれのコーナーを執筆したものにとっても励みになっております。

ということで今回お伺いしたのですが、大変久しぶりにお目にかかりました。12年前、毎年出展している京都ビジネス交流フェア（（公財）京都産業21主催）の当社ブースにお立ち寄りいただいて、システム商談をさせていただいたのがご縁で、それ以来 **Q-info** を送らせていただいております。

同社は社名の通り、カレンダーの製造をなさっており、98%がカレンダー製造だそうです。

カレンダーはバブル期の平成2、3年がピークで、それ以来減ってきているそうです。当時は名入れカレンダーは顧客に年末の挨拶で配るだけではなく、集客のための販売用具としていろいろなシーンで使われていました。必要部数だけ作って配るというのではなく、必要以上に作ってあらゆるところに蒔くという状況だったそうです。



酒屋、米屋、ガソリンスタンドなどが大口ユーザーだったのですが、個人商店の衰退、Webカレンダーやスマホの台頭などで市場は大きく変化してきました。ばらまく状況から、贈りたいところを絞って配るようになってきました。何百冊も配っていたところが減り、注文数も100冊以下が増えてきたそうです。昔は100冊以下の注文は取らなかったそうですが、最近は10冊でも名入れするそうです。印刷会社やギフト会社、事務用品店や広告代理店が顧客からの名入れ依頼を受けて注文してくるのですが、最近はそういった販売店から名入れ先への直送の依頼が増えてきたそうです。更には、名入れ先が配る先へ直接送って欲しいと、リストをもらって対応することもあるとか。

<p>● 主要行事と祭礼</p> <p>1日 川原2次大祭(京都府) 1日 福徳大社下社祭(京都府) 1日 大宮大社(京都府) 1日 大宮大社(京都府) 2日 大宮大社(京都府) 3日 大宮大社(京都府) 4日 大宮大社(京都府) 5日 大宮大社(京都府) 6日 大宮大社(京都府) 7日 大宮大社(京都府) 8日 大宮大社(京都府) 9日 大宮大社(京都府) 10日 大宮大社(京都府) 11日 大宮大社(京都府) 12日 大宮大社(京都府) 13日 大宮大社(京都府) 14日 大宮大社(京都府) 15日 大宮大社(京都府) 16日 大宮大社(京都府) 17日 大宮大社(京都府) 18日 大宮大社(京都府) 19日 大宮大社(京都府) 20日 大宮大社(京都府) 21日 大宮大社(京都府) 22日 大宮大社(京都府) 23日 大宮大社(京都府) 24日 大宮大社(京都府) 25日 大宮大社(京都府) 26日 大宮大社(京都府) 27日 大宮大社(京都府) 28日 大宮大社(京都府) 29日 大宮大社(京都府) 30日 大宮大社(京都府) 31日 大宮大社(京都府)</p>	<p>● 農事暦</p> <p>農一 水田の除草と早割防止、稲刈 畜虫駆除、草、瓜類、茄子などの中耕給肥、秋タイコン、カブ・秋野菜の収穫、 超一夏の花々の後始末、菊・ダリア、コスモスの摘み、秋彼岸の花の摘み、 花々キョウ・ハモ、女郎花、白桐花、 藍・シラヤマギク、里蘭、ススキ・サライイワナ・アザミ</p>	<p>● 8月の建築吉日表</p> <table border="1"> <tr> <td>起工吉日</td> <td>2.5.11.23.30</td> </tr> <tr> <td>上棟吉日</td> <td>2.5.6.11.23.30</td> </tr> <tr> <td>入土吉日</td> <td>2.5.11.23.30</td> </tr> </table> <p>一輪方位日 10日 15日 22日 27日 天し吉日 20日 不成吉日 8日 16日 24日 28日 三日月ほう 14日 26日</p>	起工吉日	2.5.11.23.30	上棟吉日	2.5.6.11.23.30	入土吉日	2.5.11.23.30
起工吉日	2.5.11.23.30							
上棟吉日	2.5.6.11.23.30							
入土吉日	2.5.11.23.30							

情報が豊富な同社自慢のカレンダー

そんな中で毎年同じものが欲しいと思って下さるリピーターを獲得すべく、特徴のあるカレンダー作りを目指しておられます。特に力を入れておられるのが情報が豊富なカレンダーだそうで、「大安」「仏滅」などの六曜だけではなく、祭の情報や旧暦の日付なども掲載しているカレンダーが自慢だそうです。カレンダーは2年前から作り始めるのだそうですが、『祭の情報などを集めるのが大変なんです。祭の情報が載っているカレンダーは少ないので、かなり苦労しながら情報を集めて載せています。特徴があるものを作って、毎年これが欲しいと思ってもらえるリピーターを作っていきたい』とおっしゃっていました。

今やカレンダーはばらまく時代ではない。もらう方が欲しいと思ってもらえるカレンダーを作りたいとおっしゃるその言葉に、カレンダー制作者の心意気を強く感じながら同社をあとにしました。(米田)



“一丁啮”が行く!

第163回: IT導入補助金、当社の状況報告

今年のIT導入補助金の状況を少しお伝えします。

今までにもご案内してきておりますように、今年度は従来のA・B類型の他に、来年から始まる消費税のインボイス制度を横にらみして「デジタル化基盤導入類型」という新たな類型が創設されています。

50万円までの補助金の枠なら、補助率がなんと3/4という高い率で補助されます。また、50万円を超える場合には50万円超分について350万円まで2/3という補助率で補助されます。

そういった新たな類型での採択率も大変気になるところですが、現在のところの弊社での採択状況をお伝えしておきます。直近では8/12にA・B類型の第3次締切分と、デジタル化基盤導入類型の第6次締切分の交付決定が発表されました。

弊社では第1次締切分から数えて、A・B類型で6社申請を行い、そのうち、4社が採択されました(採択率66.7%)

また、デジタル化基盤導入類型では、3社申請し、3社が採択されました(採択率100%)

今のところ、デジタル化基盤導入類型では、100%の採択率となっていますので、今年度はデジタル化基盤導入類型が狙い目かも知れません。恐らく11月か12月初めまで応募できるかと思っておりますので、今からでも遅くないのでシステムの導入をご検討される場合には是非ともIT導入補助金の活用をお考え下さい。また、添付の『Sysport announce』に記載している説明会にも、お越しいただき、インボイス制度の理解を深めていただくと共にIT導入補助金の活用もご検討下さい。(一丁啮)

編集後記

3年ぶりに大文字「五山の送り火」が行われました。お盆で現世に迎えたご先祖様をお見送りするために始まったと言われる伝統行事ですが、夏の風物詩として京都の人々には欠かすことができない行事となっています。お盆や盂に水を張り、送り火を映して飲むと無病息災とも言われていて、子供の頃にお盆に水を張って大文字を映して飲めと言われたことを思い出します。